

## ● SOE 環境教育出張授業報告 ●

## 学校の木にメタセコイヤをすいせんする



理由1 学校より高いなんて、めっちゃセコイヤ!!

理由2 学校の歴史を感じる。

理由3 寺にある感じがしてパワーを感じる。

理由4 ちゃんとまっすぐ生えている。

**志村第四小学校 4年****「学校の木を決めよう」****2月  
実施**

たくさんの樹木と草花、植物群が育つ志村第四小学校。校内の全ての樹木には、木の名前が付いています。春や夏の緑豊かな時期とは違い、骨太の裸の幹がそそり立つ 春真近な2月下旬のこと、4年生たちが、校庭で、木をしっかり観察してグループ毎に、学校の木を推薦しました。始めに映像から、樹木と私たちの暮らしのつながりを考え、校庭で、樹木フィールドビンゴで観察し、その後、推薦樹木を見つけ、グループで話し合ってもとても見事な理由を発表しました。

## ●志村第四小・4年生が考えた学校の木の推薦理由-1●

ヤエザクラ	クスノキ	サルスベリ	スダジイ
1 入学・新級の時この花を見てこの学校は自然が多いと思った思い出がある	1 勇ましく大きい	1 名前がおもしろい	1 顔みたいなのがあるから
2 黒い枝にこいピンクの花が生えるから	2 葉がいっぱいある	2 スルスルして気持ちいい	2 しかみみたいな角の形をしているから
3 元気な志四小をイメージさせる	3 太くて高い	3 みきの皮の色がきれい	3 曲がっていておもしろい
4 咲く前のつぼみもピンク	4 虫がすんでいる	4 実がついている	4 幹がわれているようになっている



**東京赤塚野菜づくりスタート—地産地消の教材**  
 センスオブアースは、赤塚城北近く野鳥の楽園のそばの区民農園（板橋区赤塚5丁目）を借り、今春東京赤塚野菜生産に挑戦しています。  
 4月30日（土）ナス・トマト・キュウリ・ジャガイモ・大豆（枝豆）を植え付けました。

## ◎志村第四小・4年生が考えた学校の木の推薦理由-2◎

サクラ	メタセコイヤ	ケヤキ	イチヨウ
1 春の主役の花だから	1 学校より高いなんてめっちゃセコイヤ!	1 木の根っこが何本も張っている	1 リっぱで木の表面がギザギザ
2 太くてりっぱだから	2 学校の歴史を感じる	2 学校より大きい	2 大きくて高い
3 ピンクや白の花がきれいだから	3 寺にある感じがしてパワーを感じる	3 木の所々にむけているところがあつてオシャレ	3 目立つ
4 入学式のときにピンクなどで学校が色とりどりできれいだから	4 年輪がすごいからです	4 夏はアフロのようにいっぱい茂っている	4 形がきれい



### 参加した学生スタッフも一緒に学びました

「学校の木を決めよう」の授業に参加して

今回は雨が降ってきて傘を差しながらの授業だったが、みんな意欲的に活動していました。最初に志村第4小学校にある木を何本か紹介したときに、その木がどこにあるのか分かっているかすごいと思ったのと同時に関心の深さが分かりました。フィールドビンゴでは寒い時期にも関わらず、生き物を見つけていて良く観察していると思いました。また班でお気に入りの木を決める時、意見が分かれた班が多くあつたが一人一人意見を言って決めていました。発表では、「この木は濃いピンクをしているから」、「生きているのが伝わってくるから」など普段からよく見ていること、以前から愛着があつたことが改めて伝わりました。授業を通して、普段は全く学校の木に興味がないと思っていたけど、そんなことはなく、とても良く見てそれぞれの思い出があることが分かり嬉しくなりました。

《日本女子大学3年 池田朱里》



学校の木を決めようという環境出前授業に初参加しました。授業前は、どうすれば木の良さが伝わるだろうとか、ちゃんと発表までの過程が小四の子どもたちにできるだろうかと不安でした。しかし、授業が進行するにつれて子どもたちの木への興味・短い時間で発表を成功させるために班で団結しようとする気持ちが高まっていくのが分かり、子どもたちの力強さ、頼もしさに驚かされました。また、子どもならではの素晴らしい想像力に感動しました。

ある班が「スダジイの木がシカに見えるから」と推薦理由を言うと、クラスのみんなまで共感し合ったり、メタセコイヤの木に「めっちゃセコイヤ!!」とギャグを言ってみんなで笑い合ったりして、楽しみながら自然と木を生み出すことを身近な大切なものと捉えているようでした。桜の木を選んだ班の発表では、「春にはピンク色の花が元気をくれるから」

と言うと、みんながまだ小さいつぼみのついた枝を見上げ、暖かい春の光の中でさく満開の桜の花を想像しているようでした。子どもたちは自然に、心にも木がよい影響を与えてくれることを学んでいたように思いました。四小の子どもたちは、これからも木や自然を大切にしようと感じました。

《早稲田大学1年 山田詩織》

# OJT研修生が、 センスオブアースで研修しました。



研修生の皆さんはアースデーでのSOEの活動にも参加

静岡県三島にあるNPO法人グランドワーク三島は、1980年代にイギリスではじまった、地域の様々な団体が協力して、その地域の環境まちづくりを進める統合的な団体です。その結果、実践的な環境教育、環境再生、地域再生、農業再生、コミュニティビジネスなどの活動で、各種賞を受け、全国的に知られる環境団体です。今回、政府の地域社会雇用創造事業の予算を受け、始めた「インターンシップ三島グランドワーク」の事業は、研修生を集め、全国の環境などの団体で、自由に研修を受けさせ、修了証を授ける研修制度です。この研修をきっかけ

に、参加者が創造的な仕事を生み出すことを狙っているようです。

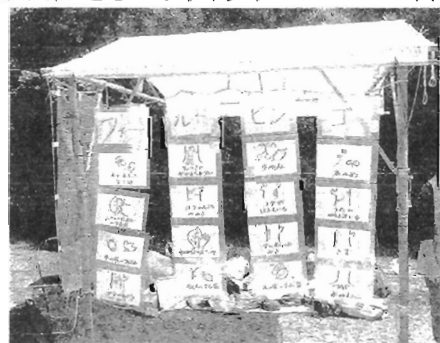
この度4人の研修生が、センスオブアースを選択され、NPO活動で学んでいきました。以下は、その社会人研修生の方々2名の感想です。



アースデーいのちの森・SOEのネイチャーゲームブース

## 東京都台東区 景山裕騎さん

今回グラウンドワーク三島のパートナーインターンシップのOJTとして参加しました影山です。内容は運二小ビオトープの管理、ビオトープ10周年記念行事の打ち合わせ、荒川クリーンエイドへの参加、月報発行、アースデーいのちの森への参加（ネイチャーゲーム）でした。もともと自然や地理地形に関心があり、面白さを他の人に伝えたいという気持ちをもって参加しましたので、面白く学ぶことができました。とくに荒川クリーンエイド、アースデーでは他団体との協調、つながりの重要性を教わり、活動の場を広げるには小さくはじめて大きく育てる、人間関係を継続する、というNPOの基本を教わった気がしました。ただ残念なこととしては、時間的な制約もあり子供たちに直接接する機会が少なかったことです。今回は短時間での参加となりましたが、時間が許せば今後も活動に関わらせていただきたいと思います。それぞれの活動のつながりについても、短い時間では理解しきれないところがあり、もう少しインタビューが必要かなと思いました。それではお世話になりました。ありがとうございました。





## OJT 研修を終えて

特定非営利活人 妙高山麓自然体験活動指導者会

理事 勝田 勝

グラウンドワーク・インターンシップなる研修会に参加する機会を得た。

総理府の地域社会雇用創造事業の一環として行われる研修で、静岡県三島市に所在するNPO 法人グラウンドワーク三島が主催するものである。内容は、市民・NPO・行政・企業のパートナーシップによる、環境教育、環境更生、地域更生、

農業更生、コミュニティビジネスなど多彩な活動を通じて、地域起こし、雇用促進のビジネスモデルの創造を学ぶものである。集合研修・OJT 研修のカリキュラムがあり、OJT 研修には東京・板橋区で活動する「センスオブアース」で学ぶことにした。

都合五日間の研修を通じて、心に残った二つの事柄につき書き留めてみた。

我々の法人の活動は文科省の学習指導要綱が提唱する「生きる力」の養成を自然の中での体験活動を通じて行うものである。今回のOJT 研修の中で神宮の森で開催された「アースデイいのちの森2011」に参加して、「生きる力」の根源は「いのち」であり、「いのち」は、自然環境の中で、「生かされている」ことを再認識したものである。大都会の森の中でのネイチャーゲームは、生きている自然と自然の恩恵を受けて「生かされている」自分に思い至ることができた。

二つ目は、「センスオブアース」の発信力である。現在63号を数えるニュースレターを、板橋区・都内城北区の公立校、教育委員会、環境団体へ毎月2,600部も配布しているという。正に継続は「力」なり、このレターも、さぞかし「生きる力」と「森林の惑星・地球の大切さ」を読者の心の中に刻みつけていることであろう。最後に、大都会における環境教育の在り方、大切さを再認識させていただいた、寺田理事長をはじめ、若いスタッフの諸君に、大いなる感謝と敬意を表します。



いのちの森実行委員長の野中ともよさん（左から4人目）と会期最終日に

## ● S.O.E. 活動報告 (2011年4月)

日	曜	内 容
2	土	蓮根第二小ピオトープ整備活動
4	月	東日本大震災支援チラシ作り (ランドセル・文房具)
5	火	福島県・教育委員会へ学校再開について 要請書送付
9	土	いたばし災害ネットワーク設立会SOE参加 募金納入
10	日	4月号ニュース発行作業
12	火	アースデイ・NHKセイブザフューチャー共、 説明会
16	土	区民農園抽選合格・若木保育園長と打合せ 蓮二小芝研修会

日	曜	内 容
17	日	荒川クリーンエイド参加 午後 区民農園耕作作業
19	火	小桜保・南保育園打合せ
23	土	アースデイ出店神宮の森 ~24まで
26	火	高島くるみ保育園打合せ
28	木	野菜苗購入ふれあいの里
30	土	農園植え付け大豆・ナス他



東京赤塚野菜づくり  
区民農園で植え付け

## 発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp